

あなたと民医連をつなぐ月刊誌

MIN-IREN

いつでも元気 を読みませんか?

月刊「いつでも元気」は、民医連と共同組織（医療生協組合員さんや健康友の会会員さんなど）がいっしょにつくる医療情報誌です。時々の医療情勢、介護保険、役立つ最新治療法や健康づくりなどの話題のほか、地域ですすむ「まちづくり」運動、子ども・子育て、環境問題……と、いま知りたい情報が満載。写真が美しく、わかりやすいと好評です。医療運動・まちづくり運動の交流誌として、役に立ち、元気になる情報がいっぱい。ぜひご購入ください。

編集●全日本民主医療機関連合会

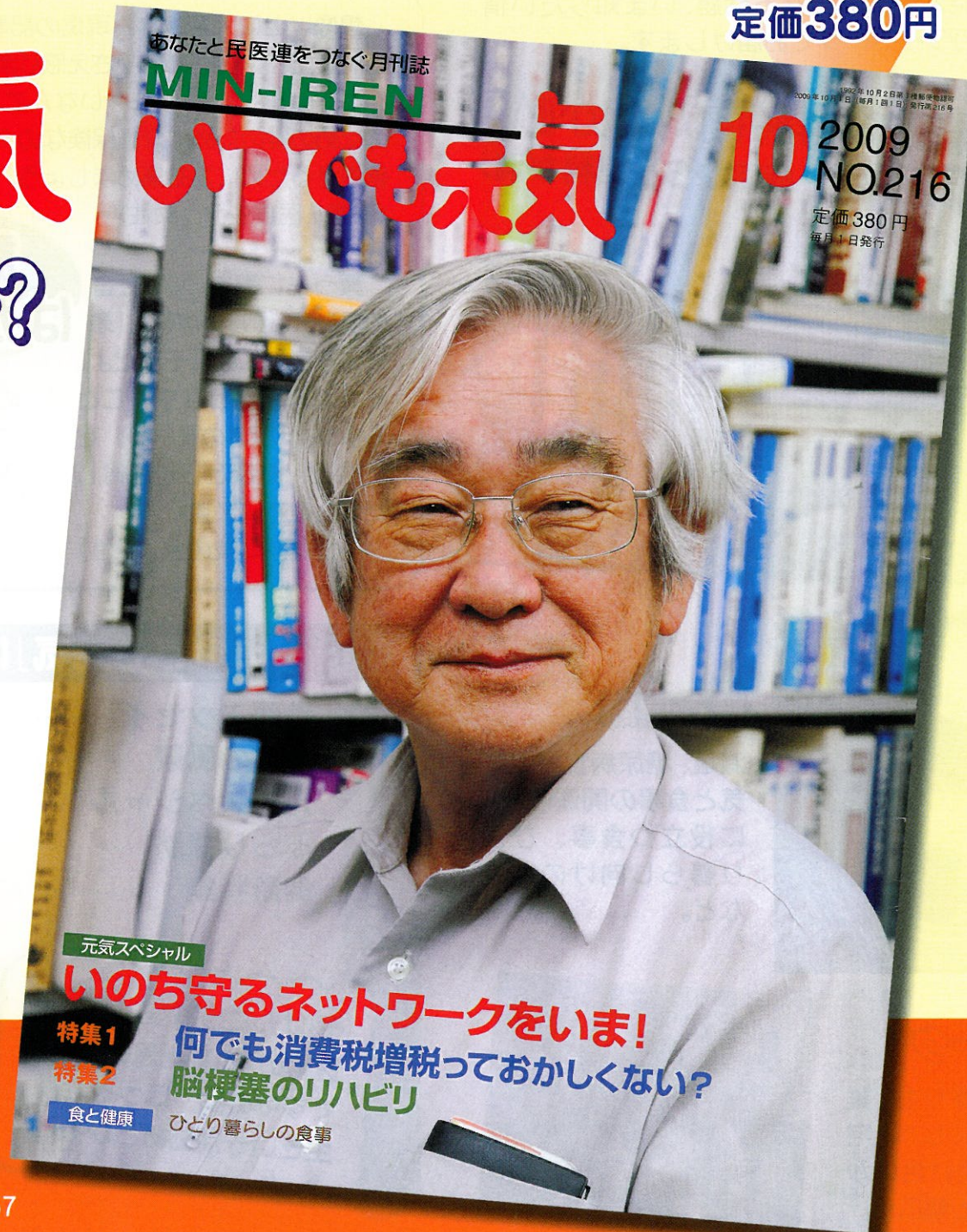
発行●(株)保健医療研究所

東京都文京区湯島2-4-4

平和と労働センター8F 〒113-0034

TEL03(5842)5656 FAX03(5842)5657

定価**380円**



元気スペシャル

いのちを守るネットワークをいま!

特集1

何でも消費税増税っておかしくない?

特集2

脳梗塞のリハビリ

食と健康

ひとり暮らしの食事

いつでも元気

購読申し込み書

■ ____年__月号
から申し込みます。

お名前

ご住所

☎

■お申し込みは下記まで

きりとり

毎月の特集

その時どきの気になる話題、いま知りたい情報をカラーページでお届けします。

子どもの病気には24時間対応が必要
小児医療SOS 病院から小児科が消

ところが、初年度実施はわずか三医療圏、三年で全国に広げる予定が、四年たった現在でも半分以下の一五医療圏



てみました。二回、入れる。群馬県高崎市にある高崎中央病院では、小児科の常勤医は鈴木隆医師ひとり。以前は、入院（六床）だけでなく、小児の一般外来もとりで診てきたといひます。「患者さんがふえてきたので、いまは外来に非常勤の医師も入ってもらっています。高崎はこの一〇年出生数はかわっていませんし、開業医とのネットワーク



食と健康

減塩、糖尿病食など病気と食事の関係、健康に役立つ食事、ひとり暮らし向けの献立など。

元気ネットワーク

子どもも大人も、お年寄りも、誰もが住みやすいまちづくりへ。宅老所、配食サービスの助け合いから、子どもの広場づくりと幅広く。



想像以上に大変な介護現場の記事を読んで、ひどい制度に怒りさえ感じます。必要な介護が受けられないなんて、何のための誰のための介護保険なの？改善させるために力を集めましょう。
(高知・医療生協・女性)

「肝臓がん」の記事、写真と図解でいねいに説明されていて、今までよくわからなかったことがやっと納得できました。早期発見・早期治療の大切さを痛感しました。
(島根・友の会・女性)

読者の
はがきから

真っ先に読むのは「医者
の言い分・患者の本音」。「患者の本音」には「そうだよ、そうだよ」とうなずくことも多い。「医者
の言い分」を読むと、患者として反省したりもしています。
(熊本・友の会・女性)

「“ピース”の道は“エコ”へとつづく」の記事に驚きました。戦車や戦闘機が、大量の燃料消費と二酸化炭素排出で温暖化をすすめていることがよくわかりました。憲法9条を持つ日本は、平和と環境の分野で存在感を発揮すべきですね。
(北海道・職員・男性)



「いつでも元気」は、元気がでる雑誌です！

好評連載中

- 巻頭エッセイ..... 各界の著名人が執筆
- 日本の風景..... 四季折々の美しい風景
- 元気スペシャル..... 世界と日本のホットな話題を写真で伝える
- ぶらり探訪..... 情緒たっぷりの歴史散策
- 健康特集..... 最新の医療情報をわかりやすく

① けんこう教室
医者
の言い分・患者の本音
くすりの話 ほつと介護
生きいき活動あらかると

